

TDU *Agora*



東京電機大学×東京都住宅供給公社

学生の企画・設計による団地住戸リノベーション 1

CONTENTS

今月の顔 高橋時市郎 教授(未来科学部 情報メディア学科).....	2	TOPICS	5
働く電大人 秋葉慎太郎さん (平成24年3月 情報環境学部 情報環境学科卒業) ...	3	中学校・高等学校	6
学び探求 「アウトドアスポーツA」 (東京千住キャンパス 人間科学系列)	4	キャンパスよもやま情報	7
		News	7
		Information	15



埼玉鳩山キャンパス スクールバス新停留所

特集

東京電機大学 × 東京都住宅供給公社

学生の企画・設計による団地住戸リノベーション

選出されたプランを設計した建築学専攻の川田さん、加藤さん、藤沢さん(左から)

東京電機大学と東京都住宅供給公社(以下「JKK 東京」)は、学生の企画・設計による^{おきの}興野町住宅(足立区西新井)の住戸リノベーションに取り組んでいます。これは、同住宅の再生に向け多様な世代の入居を促進し、コミュニティの維持・活性化を図るため企画され、JKK 東京より本学に提案があり実施されることとなりました。若者ならではの発想が若年・子育て世帯のニーズに対応する魅力ある住戸づくりのプロジェクトとなります。

企画については、6月に中間プレゼンテーション、7月に最終プレゼンテーションを実施しました。未来科学研究科建築学専攻の大学院生17名による個性豊かなリノベーションプランが提案され、積田洋教授他、本学担当教員とJKK 東京職員の審査を経て、住戸タイプごとに3つのリノベーションプランが決定されました。各プランはデザインだけでなく、改修コストの抑制や排水管の勾配を勘案したキッチンの配置等、工夫の跡が多く見られる内容となりました。

今後は学生が3つのチームに分かれ、決定したリノベーションプランについて10月を目途に設計を完了させる予定です。工事は2020年3月に始まり、完成は同年9月を予定しています。



興野町住宅(昭和33年建設)

プラン1

『湾曲壁の隠れ家』

川田 啓介さん



- 住戸内の空間に変化をもたらす湾曲した大きな壁を設置。
- 隠れ家的な空間としてベッドルームやスタディールームを配置。

プラン2

『伸び縮みする家』

加藤 未来さん



- 住戸内に「収納の帯」(収納、ベッド、デスク、キッチンなどの機能)と「動線の帯」を交互に配置。
- 動線に対し、収納を自由に開閉させ、家の中の活動の伸び縮みが可能。

プラン3

『趣味人たちの空間』

藤沢 裕太さん



- 階段室を挟んだ2つの部屋にダイニングキッチンとリビングを配置。
- それらを斜めに配置して生じたスペースを玄関から通じる土間とし、趣味人の「創る」、「魅せる」、「仕舞う」空間として活用。

映像情報メディア学会からフェロー称号 ～人工知能は絵を描けるか～



未来科学部 情報メディア学科
高橋 時市郎 教授

1977年新潟大学工学部卒。同年電電公社入社。NTT基礎研究所、ヒューマンインタフェース研究所、サイバーソリューション研究所において、研究開発に従事。2003年本学工学部教授、2007年より現職。

2019年6月、映像情報メディア学会よりフェロー称号を頂戴しました。大学に来てから発表した学術論文・国際会議論文数は100編を超えました。これは研究室の学生諸君の素晴らしい発想力と卓越した実装力の賜物です。研究室を代表してフェロー称号を頂戴したものであり、卒業生・現役生諸君に心から感謝しています。

『Star Wars』に魅せられた会社時代

会社に入社した翌年1978年、映画『Star Wars』が封切られ、コンピュータグラフィックス(CG)の研究を上司に内緒で始めました。CGか実写か見分けがつかない映像づくりを競った1980年代が終わり、1990年、Non-photorealistic(非写実的)Renderingという、ヒトの視覚に訴えるCGの論文を、東京農工大学教授の斎藤隆文氏と連名で、世界で最初に発表しました。以来、私の専門分野のひとつとなり、研究を続けています。

超高精細映像と絵画風映像生成

本学に着任した2003年は超高精細映像(4K/8K)の黎明期でした。デジカメ等の低解像度の入力画像をサンプリングして、水彩画や油彩画はもちろん貼り絵や点描画まで、多種多様多彩な絵画風映像を超高精細で生成できるので、コンテンツ不足であった4K/8Kの映像制作現場で重宝されました。4K/8Kなら、絵筆とキャ

ンバスの創り出す微細な凹凸・繊細な質感も、千代紙の玄妙な陰影で作られた貼り絵も表現できます。

Tinker Bell Rendering

4K/8K映像のもう一つの特長はHDR(high dynamic range)であることです。ざらりと輝く太陽光から蛍の光まで、広い色空間を1枚の映像中に同時に表現することができます。画面内に仮想の点光源を置くと、光源がその周囲の限定された領域を照らし出し、絵具の艶や筆遣いを浮かび上がらせて絵のモチーフを一層引き立てる絵画風表現が可能になります。光源が画面内を移動すると、夕暮れの街をTinker Bellが飛んでいるようだとお洒落なコメントを頂戴したことから、Tinker Bell Renderingと呼んでいます。

創造性を励起するAI

一方で、CGの弱点は、摩訶不思議なパラメータです。どういう値にしたら、気に入ったCG映像表現になるのか、全く不透明です。そこで、CGシステムが自動で描いた絵画風画像の中で気に入らないところをユーザが選ぶと、AIがユーザの好みを推定して、それまでとは異なるパラメータで描いた絵を提示する仕組みを実現しました。AIのつくる絵がユーザにインスピレーションを与え、ユーザの創造性を育む効果もあるようで、個性的な絵画が生まれます。ユーザが想像できなかった絵画の創作を支援するAI型CGシステムを実現できるかも知れません。

学生諸君へ

未知の領域を切り拓く研究の醍醐味に勝るものはありません。学生諸君が楽しい研究生活を送られることを願って止みません。



水彩画風画像の生成例



Tinker Bell Renderingの例



AIとヒトが協力して描いた絵画風CGの例

モノゴトを完結させることが成長となる ～大学での学びと経験が自信の源に～



成田国際航空株式会社
営業部門 給油事業部 空港グループ 主任
秋葉 慎太郎さん
平成24年3月 情報環境学部 情報環境学科卒業

私はちょうどパソコンが普及し始めた世代で、どこまでも広がるインターネットの世界に没頭し、親しんできました。そこからネットワークの仕組みに興味を持ち、更に詳しい分野を学びたいと思い東京電機大学の門を叩かせていただきました。

情報環境学部を卒業後は、成田国際空港株式会社(NAA)にて通信職として業務に携わっています。NAAではスペシャリストではなく、様々な業務に対応できるゼネラリストの育成に力を入れているため、ずっと同じ業務を行うことはありません。若手は大体3年毎に部署異動があり、最初は戸惑ったものの通信分野での様々な業務に携わることができ多くの学びを得ています。今まで携わったプロジェクトは多岐にわたり、苦労もありましたが、それらは大学で学んだある1つの事によって前に進めていくことができました。

それは、“まず完結させること”です。

モノゴトを誰でもない自分の手で完結させることが糧となり、前に進むための実力に繋がっていきます。どんな小さな事でも、レポート作成・サークル活動の発

表など少しでも完結させることが出来れば、その節目を迎えるごとに自分でも気付かない内に実力と自信がついてくるようになります。

大学時代は学業の他、モノカキ創作部に所属し、学園祭で制作音楽CDの頒布などを行っていました。そのまとめ役として奔走し、数多の問題を乗り越え毎年CDを頒布するというイベントを確実に完結させてきた事も今の業務において自信の源となっています。

現在、成田空港の管理会社として航空燃料を航空機に届けるシステムの次期伝送計画策定や、燃料在庫量を管理する重要なシステムの更新工事に携わっています。学生時代からは想像できないほど大きなプロジェクトを動かしていますが、大学で学んだことは気づけば様々なところで生きています。

皆さんも多くの課題を抱えていると思いますが、どんな形であれ一歩踏み出してそれを完結させてみてください。その経験が自分を成長させていく貴重な足がかりになることは間違いありません。



航空燃料を貯蓄するタンク設備



新規ネットワーク構築の接続を確認

「アウトドアスポーツA」

～チームワーク能力を育む「富士登山キャンプ」～

東京千住キャンパス 人間科学科目 夏季学外集中授業 全学科全学年対象

未来科学部 人間科学系列 加藤 知己 教授

実社会で活躍するためには、知識に加えて、チームワーク能力や忍耐力、やり遂げる力など、コンピテンシーと呼ばれる資質・能力を学生時代に身につけることの重要性が近年指摘され、国内外の大学では、その育成を重視した教育課程改革が進められつつあります。このような流れの中、人間科学系列スポーツ健康科学分野では、「富士登山キャンプ」(3泊4日)において学生のチームワーク能力向上を意図した授業を展開しています。



キャンプの役割分担を協議する学生

本授業の初日に、安全で計画的な富士登山とキャンプ活動を成功させるためには、知識や技術だけでなくチームワークの良さが鍵となることを伝え、実習中は主体的に考えて行動することを促します。そして、チームワーク形成のための要点とともに役割分担等の必要事項の説明を受け、キャンプ活動を開始します。2日目午前には、富士登山に関する講義後、班別に登山計画を協議・決定し、そのプレゼンを行います。午後には行動食づくりなどの登山準備を行い、18時に5合目から登山を開始します。そして翌3日目の9時頃に下山します。



山頂をめざして登山する学生たち

この一連の活動後に提出されるレポートには、「体力の低い自分を気づかって班員と一緒に登ってくれた」、「呼吸が苦しくなった自分の荷物を仲間が背負ってくれた」、「食事づくりは苦手なので火おこしを頑張った」等々、支えたり支えられたりする体験が活き活きと綴られ、参加学生は実習を通じてチームワーク能力の諸側面に様々な刺激を受けていることが窺い知れます。

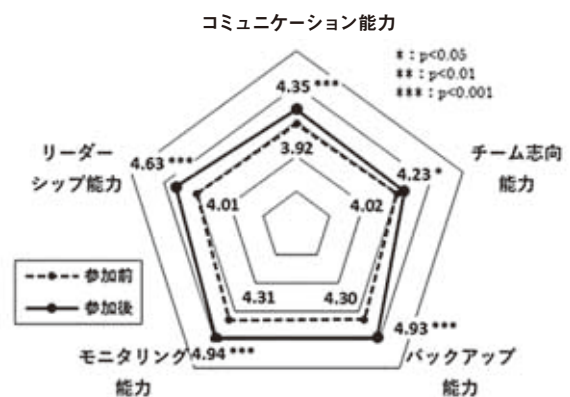


図1 富士登山キャンプ参加学生のチームワーク能力の変化

私も含め担当教員は、長年の経験上「富士登山キャンプ」にはチームワーク能力を向上させる効果があると考えてきました。しかし、同時にその評価の難しさが課題であるとも認識していました。そこで今年度は、妥当性が検証された6段階尺度^{*}を用いてチームワーク能力の定量的評価を試み、授業参加後の変化を観察してみることにしました。その結果、図1に示すように参加学生(41人)のチームワーク能力の5要素は一定程度向上することが認められました。今後も、「富士登山キャンプ」のチームワーク能力育成効果を高めるために授業内容と方法の改善を図っていこうと考えています。

^{*}相沢充ほか:「個人のチームワーク能力を測定する尺度の開発と妥当性の検討」,社会心理学研究,第27巻,第3号,139-150,2012年



富士山頂からのご来光と雲海(2019年8月筆者撮影)



プレゼンテーションの様子(田中慶太准教授)

イノベーションジャパン2019 -大学見本市- ~国内最大規模の展示会に 研究成果を出展~

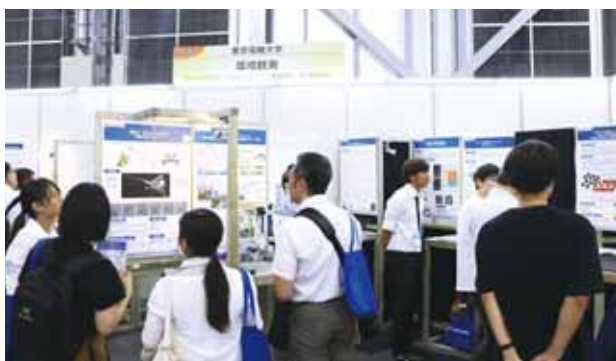
産官学交流センター

8月29日~30日にかけて、本学の研究成果を展示紹介し、社会実装することを目指し、大学と産業界とのマッチングをはかる国内最大規模の展示会「イノベーション・ジャパン2019-大学見本市-」に出展しました。

研究成果4件の大学等シーズ展示に加え、大学組織展示では「環境計測 地球の健康診断・地球をまるごと「見える化」する観測技術」をテーマに、12件の研究について展示・発表を行いました。このブースデザインは建築学科の教職員、学生11名が担当しました。

8月30日には理工学部電子工学系の田中慶太准教授による、本学の組織展示のテーマについてのプレゼンテーションを行ない、大学等シーズ展示では、未来科学部ロボット・メカトロニクス学科の岩瀬将美教授、藤川太郎准教授、工学部電気電子工学科の佐藤慶介教授、理工学部電子工学系の荒船龍彦准教授が出展し、それぞれの研究成果をわかりやすく解説しました。

プレゼンテーション、ブースともに研究成果に興味をもつ企業や公的機関の方々にご来場いただき、大変盛況となりました。



来場者で賑わう大学組織展示ブース



カメラオブスキュラ製作の様子

科学・ものづくり体験教室 フォロー講座 ~足立区の小学生が参加する、 足立区との連携企画イベント~

地域連携推進センター

8月8日に地域連携推進センター、東京千住キャンパス事務部、足立区が連携し、科学・ものづくり体験教室フォロー講座を開催しました。この講座は一人でも多くの子どもたちに科学やものづくりを体験してほしいという思いから、去る6月29日に開催した「科学・ものづくり体験教室」(申し込み者368名)の第2抽選で当選した小学5年生、25名が参加しました。

小林宏史准教授(工学部先端機械工学科)が講師となり、「カメラオブスキュラを作ってカメラの原理を学ぼう」をテーマに、光の不思議について学び、光応用機械工学研究室の学生並びに電大ガールズの懇切丁寧なサポートのもと、楽しみながらオリジナルのカメラオブスキュラを作成しました。

完成したカメラオブスキュラに外の景色が映し出されると、児童や付き添いの保護者から歓声が上がりました。光の原理についても学ぶことができ、とても有意義な体験教室となりました。



小林宏史准教授の講義

中学校体育祭



選手宣誓

9月27日に中学校の体育祭が実施されました。例年、中学と高校は別日程で開催しており、実施日2日前の午後に全体練習、前日の午後は体育祭当日の準備をしています。今回は競技自体ではなくその裏の部分に焦点を当ててご紹介したいと思います。

全体練習は、4時限目の授業後に行われるので少々慌ただしいのですが、教室から直接応援席に集合し入場の練習から入りました。全体に対して注意事項を話した後、体育祭実行委員執行部の音頭で準備体操を行い、全員参加の玉入れの練習を行いました。勝負は本番ということで、入った玉の数は途中までしか数えませんでした。その後、各学年に別れ学年種目を同時進行で練習しました。各クラス本番さながらでかなり気合が入っている様子でした。また、大玉転がし・騎馬戦などルールの確認が必要な競技を実際に行いリレーのバトンパスの練習で終了しました。

前日は、指定の運動部による会場設営です。体育祭で用いる用具の準備やクラブハウス倉庫にあるテントを組み立て、椅子を並べるのは結構な作業でした。要領がわからない1年生も先輩たちの指示に従い非常によく動いてくれました。特に昨年度はグラウンド改修工事のため校外のグラウンドを借りて体育祭を実施したため、準備作業を行っておらず、上級生も手探りの状態での準備となりましたので苦労したと思います。

当日は、競技が終わるたびに次の競技の準備をし、競技前に出場生徒を招集して人数確認とスタート地点への誘導など、様々な役割がクラブ活動の生徒によって運営されています。もちろん進行役を行う放送は放送部が行っています。終了後も運動部の生徒がてきぱきと撤収の作業を行い、今年の体育祭も無事終了することができました。

毎年のことですが、陰で支えてくれる生徒のおかげで体育祭は成り立っており、この場を借りてそういった生徒たちに感謝したいと思います。

(中学校教頭 黒沼康広)



カラフルなボールが眩しい大玉転がし



クラブ対抗リレーは大盛り上がり！



白熱する騎馬戦

キャンパスよもやま情報

東京千住キャンパス

リバーサイドコンサート



10月5日に電大ギャラリーにて、クラシック音楽のプロによる「リバーサイド コンサート」を開催しました。今年で4回目となるこのコンサートは、足立区生涯学習センターとの地域連携企画として毎年開催しています。

今年は、バイオリン奏者、根来由実さんとチェロ奏者島津由美さんによるデュオ「Yumi × Yumi」がクラシックからポップスまで幅広い曲目を披露しました。例年を上回る、約120人の地域の方々にお越しいただき、大盛況のうちに終了しました。（総務部 岡本）

埼玉鳩山キャンパス

スクールバス新停留所完成



埼玉鳩山キャンパス本館前のスクールバス停留所の建て替え工事が完了し、9月9日より使用が開始されました。

今回完成した新しいバス停留所は、以前のものに比べ屋根が大幅に長くなり、全長約48mになりました。併せて本館のバス待合室と停留所間の屋根も設置されました。学生は熊谷行等のスクールバスを、停留所の屋根の下で雨に濡れずに待つ乗車できるようになりました。（理工学部事務部 長坂）

東京小金井キャンパス

バスケットゴールの更新

体育施設の整備・充実の一環として、9月18日、19日に掛けて、バスケットゴールの更新を行いました。

中学校・高等学校の体育館には、バスケットコートが2面ありますので、4つのゴールを新しいものへ取り替えました。コートが2面あることから、本校の体育館では公式戦も定期的に行われ、部活動も活発に行われております。（中学校・高等学校事務室 中野）



News

特別講演会「子どものコミュカUP術」

研究推進社会連携センター

9月28日に東京千住キャンパスにて、足立区の連携企画として、理工学部 小林春美教授による特別講演会「子どものコミュカUP術」を開催しました。

この講座は小学1年生から6年生までの保護者を対象に、子どもたちの友達関係や学校生活に役立つコミュニケーション能力を伸ばす方法や、お父さん、お母さんがお子さんと良いコミュニケーションが取れる方法について講演がありました。

参加した保護者の方々は、メモを取ったり、先生の話に何度もうなずいたり、熱心に耳を傾ける様子が印象的でした。



真剣に話に聞き入る参加者

駐日タイ王国外交官が本学を訪問 国際センター

9月10日に駐日タイ王国大使館より公使参事官ソムジャイ・クライスバン氏と外交職員5名が東京千住キャンパスを訪問しました。

本学からは、平栗健二統括副学長、宍戸真国際センター長が出迎え、本学で学んだタイ王国国費留学生の今年度前期末卒業を報告しました。タイ王国大使館より、本学側の卒業までの支援に対する御礼の言葉をいただき、在学中の国費留学生バーハ・カーマンさん(情報環境学研究科 情報環境学専攻2年)の研究室の訪問と本人による研究内容のタイ語での発表、施設見学等も行いました。

訪れた外交職員は、留学生の普段の勉学や生活等を実際に確認し、留学生との懇談も盛り上がり大変満足そうな様子でした。

今後もこうしたご縁を大切に、修学意欲が高く優秀な留学生を受け入れることができるよう支援していきたいと思えます。



タイ王国公使参事官クライスバン氏と平栗統括副学長



タイ国費留学生カーマンさんによる研究発表

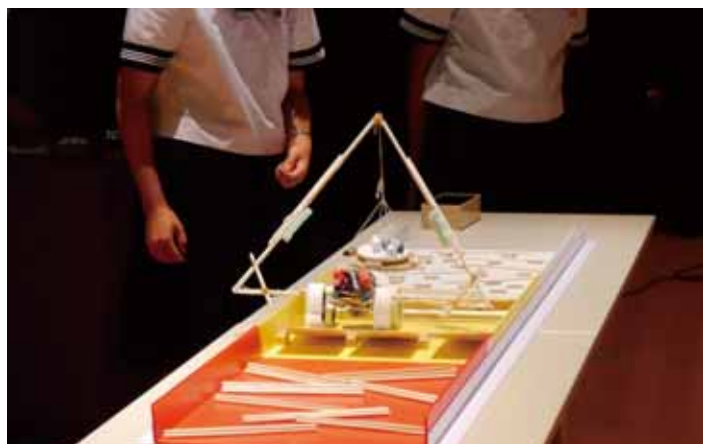
豊島岡女子学園 ものづくりプロジェクトに協力 総務部企画広報担当

協定校である豊島岡女子学園中学校・高等学校の夏休みの「ものづくりプロジェクト」の競技・審査会が8月31日に同校で開催されました。今回のテーマは“衝撃を吸収する機構を開発せよ！”。工学部先端機械工学科の清水康夫教授が監修、約50名が参加しました。

「災害時に荒れた道を走るための乗り物には、衝撃を吸収する機構が必要となる。その機構を考え、思い描いたものを形にし、それをエンジニアリングの観点で検証してみよう。」という目的のもと、市販のパーツを使って車の基本の形を作成。主に衝撃吸収の機構の部分を各チームが開発し、皿の上の球が落ちないように工夫した自作の車を障害物を設定した競技用コースで走らせ、皿の上の球をどれだけ多く運べるかを競いました。また、アイデア発表タイム、アイデアシートでお互いを評価しました。数々のユニークな発想の機構が登場。清水先生のミニ講義にも刺激を受けた様子で大変盛り上がり充実した競技会となりました。



それぞれ競技の様子はスクリーンに映し出される



車体に立てた支柱から皿を吊り下げたチームも！

顕著な活躍をした電大人を紹介します。



鈴木 慧さん(修士1年)
理工学研究科 理学専攻(ナノマテリアル研究室)
第80回 応用物理学会 秋季学術講演会
放射線分科会 学生ポスター賞
令和元年9月20日



大西 謙吾 教授
理工学部 電子工学系
2018年度 ライフサポート学会
論文賞
令和元年9月13日



宮内 弘太さん(博士2年)
先端科学技術研究科 建築・建設環境工学専攻(都市・交通計画研究室)
EASTS CONFERENCE 2019
Outstanding Poster Presentation Award
令和元年9月12日



大西 謙吾 教授
理工学部 電子工学系
共著者
岩崎 雄己さん
(平成30年3月 理工学研究科 電子・機械工学専攻修了)
須田 真之助さん
(平成31年3月 理工学研究科 電子・機械工学専攻修了)
生体医工学シンポジウム
ベストレビューワーアワード
令和元年9月6日



立石 良生さん(修士2年)
工学研究科 情報通信工学専攻(データ工学研究室)
第18回 情報科学技術フォーラム
FIT奨励賞
令和元年9月5日



河村 天暉さん(修士2年)
未来科学研究科 情報メディア学専攻(計算言語学研究室)
第18回 情報科学技術フォーラム
FIT奨励賞
令和元年9月5日



福士 龍一さん(修士1年)
未来科学研究科 情報メディア学専攻(コンピュータグラフィックス研究室)
第18回 情報科学技術フォーラム
FIT奨励賞
令和元年9月5日



三井 駿さん(修士2年)

工学研究科 電気電子工学専攻 電子光情報コース(電子情報システム工学研究室)

2019年 電気学会 電子・情報・システム部門大会

優秀ポスター賞

令和元年9月5日



坪井 栄樹さん(修士1年)

工学研究科 電気電子工学専攻 電子光情報コース(電子情報システム工学研究室)

2019年 電気学会 電子・情報・システム部門大会

優秀ポスター賞

令和元年9月5日



清水 純平さん(修士1年)

理工学研究科 生命理工学専攻(生物物理化学研究室)

日本食品科学工学会 第66回大会 第15回若手の会研究発表

若手の会企業賞

令和元年8月30日



藤田 聡 教授

工学部 機械工学科

日本機械学会 機械力学・計測制御部門

学術業績賞

令和元年8月29日



柏 昂希さん(博士3年)

先端科学技術研究科 機械システム工学専攻(内燃機関研究室)

2019 JSAE/SAE Powertrains, Fuels and Lubricants International Meeting

Best Paper Award

令和元年8月28日



井上 裕之さん(4年)

理工学部 電子・機械工学系(電子計測研究室)

電気学会 東京支部 第10回 学生研究発表会

優秀発表賞

令和元年8月28日



古郡 葉子さん(4年)

理工学部 電子・機械工学系(電子計測研究室)

電気学会 東京支部 第10回 学生研究発表会

優秀発表賞

令和元年8月28日

(受賞日順)

※所属・学年は受賞時

顕著な活躍をした電大人を紹介します。



戸塚 穂高さん(博士1年)
先端科学技術研究科 機械システム工学専攻(材料力学研究室)
ICMEA 2019
Best Poster Award
令和元年8月24日



小林 千紘さん(3年)
理工学部 建築・都市環境学系
第3回 日本建築学会グローバル化人材育成プログラム
「世界で建築をつくるぞ！ーグローバルな建築デザイン・マネジメント・エンジニアリング分野への入門」
プレゼンテーション 青木謙一 賞
プレゼンテーション 山下真澄 賞
令和元年8月22日



山口 正二 教授
理工学部 情報システムデザイン学系
日本カウンセリング学会
学会賞
令和元年8月18日




小林 晴貴さん(修士1年)
工学研究科 情報通信工学専攻(暗号方式・暗号プロトコル研究室)
中村 大さん(4年)
工学部 情報通信工学科(暗号方式・暗号プロトコル研究室)
ApeosWare Management SuiteとApeosWare Management Suite2のオープンリダイレクト脆弱性を発見
脆弱性番号: CVE-2019-6004, JVN#07679150
令和元年8月15日





川原田 健人さん(4年)
未来科学部 建築学科(設計情報マネジメント研究室)
臼井 秀太郎さん(3年)
未来科学部 建築学科(建築・住環境デザイン研究室)
原田 岬幸さん(3年)
未来科学部 建築学科(建築設計研究室)
第3回 未来こども園デザインコンペティション
最優秀賞
令和元年8月9日





柏舘 敬さん(修士2年)
理工学研究科 情報学専攻(コミュニケーション科学研究室)
Cognitive Science Society Meetingv 2019
Student Travel Award
令和元年7月24日


 **古屋 治** 教授
理工学部 機械工学系
ASME Pressure Vessels and Piping Conference
学会貢献賞
令和元年7月17日


 **小田 彰恭**さん
平成22年3月 理工学部生命理工学系卒業/現 研究生(生体組織工学研究室)
第40回 日本炎症・再生医学会
優秀演題賞(血管内皮)
令和元年7月17日

 **立石 良生**さん(修士2年)
工学研究科 情報通信工学専攻(データ工学研究室)
SNPD 2019
Best Paper Award
令和元年7月11日

 **野城 圭佑**さん(修士1年)
未来科学研究科 ロボット・メカトロニクス学専攻(信号処理とモデリング研究室)
ヨコハマ・ヒューマン&テクノランド2019
ヨッテク・デザイン大賞
令和元年7月10日

 **荒尾 彩子**さん
(平成31年3月 未来科学研究科 ロボット・メカトロニクス学専攻修了)
電子情報通信学会 知的環境とセンサネットワーク研究会
若手研究奨励賞
令和元年7月10日

 **佐々木 良一** 特命教授
総合研究所・同 サイバーセキュリティ研究所長
情報処理学会 DICOMO2019
シニアリサーチャ賞
令和元年7月5日

 **松永 拳**さん(修士2年)
工学研究科 電気電子工学専攻(デジタル信号処理研究室)
電気学会 成30年 電子・情報・システム部門
技術委員会奨励賞
平成31年2月5日

(受賞日順)
※所属・学年は受賞時

校友会だより



中学・高等学校同窓会が武蔵野祭で「だんわ室」を開設

9月14日・15日の2日間、東京小金井キャンパスにて中学校・高等学校の学園祭「武蔵野祭」が開催されました。例年、中学・高等学校同窓会は歓談の場として「だんわ室」を開設し、卒業生をお迎えしています。

今年は、「30歳を迎える卒業生」にも武蔵野祭の案内状を発送しました。おかげさまで延べ377名の卒業生が来校し、同窓生たちが旧交を温めていました。

また、「だんわ室」内で開催している写真展には、昨年1月に東京千住キャンパスで開催した「二十歳のお祝い」合同クラス会の写真を展示し、卒業生に楽しんでいただきました。



「だんわ室」でくつろぐ卒業生

出版局 新刊のご案内

今回の新刊は、既刊「表面筋電図」の最新刊をご紹介します！

<バイオメカニズム・ライブラリー>多点表面筋電図

バイオメカニズム学会 編／増田 正 (福島大学)・佐渡山 亜兵 (信州大学) 著

A5判 200頁 3,300円

新たな応用の可能性が期待される多点表面筋電図の利用方法や応用例について詳解。幅広い研究領域で活用できるように解説。



TDU
電機大
出版局

「電大ガールズ」D-girls

後期の電大ガールズのメインイベントは11月3日、4日の旭祭への出店と12月のクリスマス会です。

今年の旭祭には昨年同様、揚げドーナツを出店します。外はサクサク、中はフワフワです！更に様々なトッピングができるので是非お越しください！

クリスマス会に向けてはフードだけでなくゲームの企画も練っています。電大ガールズの雰囲気を感じていただくことができると思います。たくさんのご来場を一同お待ちしております。

工学部 応用化学科 3年 鈴木 佳奈



学生だより

ハムフェア2019に参加

～日本最大のハムイベントで多くの無線家達と交流～

東京千住キャンパスアマチュア無線部(JA1YAQ)
副部長 豊竹 和孝(工学部 情報通信工学科 2年)

8月31日、9月1日に、日本アマチュア無線連盟が開催しているハム(アマチュア無線家)の日本最大のイベント「ハムフェア2019」が東京ビッグサイトで開催されました。ハムフェアでは、無線機やジャンクの販売、新製品発表や技術展示、交流会など様々な催しが行われます。我々アマチュア無線部は、小金井にある電大中高を通じて、同じ小金井にあるNICT(情報通信研究機構)電波研クラブや東京学芸大学アマチュア無線部との合同ブースに参加し、毎年出展させていただいています。



会場の様子

今年も多くの方が来場し、NICT電波研クラブも本学無線部も半世紀以上の長い歴史を持つクラブである故、ブースには卒業生や元教員などの関係者の方が多くいらっしゃり、多くのハムとお話することができました。他大学の無線部の方と交流することは多くありますが、年配の方や海外のハムと交流する機会は少なく非常に良い機会となりました。



参加者の集合写真

新しい時代を拓いた科学・技術 vol.25

トーマス・アルバ・エジソン

アメリカ合衆国 ● 1847年～1931年

蓄音機、電球、映写機… 電化の発明王

「大事なことは、君の頭の中に巣くっている
常識という理性を綺麗さっぱり捨てることだ」

不屈の精神と行動力で、アイデアをカタチに

小学校を中退したエジソンは、電気や化学の実験に熱中。12歳頃から働き始め、15歳頃には電信技師となり、独学で学び続けていました。転機は22歳の頃、発明した株式相場表示機が高額で買い取られたのです。その利益をもとに1876年、ニュージャージー州メンロ・パークに研究所を設立し、発明家への道を邁進。1877年には音を記録して再生する蓄音機(フォノグラフ)を発明。1879年には、灯油やロウのように火事の危険がなく、連続点灯時間が長く実用化に耐える白熱電球を発明。また動く画像を再現できる映写機も発明。事業化を前提とした1300件超の数々の発明品と特許は、人々の生活を電化生活へと一変させました。

©TDU



白熱電球の開発での課題は、フィラメントの材料でした。エジソンは世界中に調査員を送り、6000種以上の有機繊維を試し、京都産の竹が最適という結論に達しました。エジソンは、電球のような家電を含め発電から送電までの電気の事業化に取り組みましたが、訴訟も多く、評価は分かれています。

今月の俳句

教職員親睦会「千住俳句会」

譬ふればモネのパラソル水海月
京風と称せり落を淡く煮て
荒れ梅雨も傘が彩る銀座かな

知多(絹川博之)

七美男(松田七美男)

廻子(大園成夫)

Information

秋の学園祭情報

東京千住キャンパスと埼玉鳩山キャンパスにて、学園祭を開催します。今年も各研究室や学生団体の展示、模擬店、フリーマーケットに加え、トークショーやお笑いのステージを企画しています。是非ご来場ください。



旭祭 テーマ「PLANET」

日 時 11月3日(日・祝日) 10:00~17:00
11月4日(月・休日) 10:00~16:00

会 場 東京千住キャンパス
北千住駅東口(電大口)徒歩1分

特設サイト <https://asahisai.com/>

お問 合 せ 東京千住キャンパス事務部(学生厚生担当)
Tel. 03-5284-5340



※11月3日(日・祝日) 10:00~17:00 「ホームカミングデー」開催(全卒業生対象)

鳩山祭 テーマ「よってらっしゃい!みてらっしゃい!出会う43回目のHATOFES」

日 時 11月3日(日・祝日) 10:00~16:00
11月4日(月・休日) 10:00~16:00

会 場 埼玉鳩山キャンパス
東武東上線高坂駅西口 スクールバス(無料)8分

特設サイト <http://hatosai.sunnyday.jp/>

お問 合 せ 理工学部事務部(学生厚生担当)
Tel. 049-296-0496



※11月4日(月・祝日) 11:00~14:00 埼玉鳩山キャンパス「OB・OG交歓会」開催
(理工学部、理工学研究科卒業生対象)



編集後記

自動運転技術やAI等、科学技術の進歩は目覚ましいですが、人をまとめ、チームとしての力をより高いレベルで発揮できるようにするのは現時点では人間にしかできないことだと感じました。秋は行事が多く、学園祭を控えたキャンパスは学生の活動が活発になってきました。皆様のご来場をお待ちしております。

TDU

学校法人東京電機大学 (総務部企画広報担当)

〒120-8551 東京都足立区千住旭町5番

TEL. 03-5284-5125 FAX. 03-5284-5180

E-mail: soumu-kikaku@jim.dendai.ac.jp

<https://www.dendai.ac.jp/>



この印刷は環境保護の為、印刷に伴う廃液を排出しないシステムで印刷されています。